

2016年  
7月

No.213

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット  
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
TEL・FAX 077-545-5154

## 「キンカン」行動 200回目記念パレード 300回はないように、関電前の行動が1日も早く終わるよう願っている

「キンカン」は、2012年春から毎週金曜日に首相官邸前で始まった原発ゼロを求める市民運動。呼応した取り組みが全国に広がり、滋賀では「金曜関電前＝キンカン」行動として続いています。

滋賀の「キンカン」行動が、22日、2012年7月27日の開始以来、200回目を迎え記念パレードが行われました。150人が参加し、JR膳所駅前から関電支社前までを「原発ゼロ」「再稼働やめろ」「放射能からのちとびわ湖を守れ」等と唱和しました。



「キンカン」行動に集まった人たち（JR膳所駅前）



関電滋賀支社前をパレード

最初から、続けて参加しているさざなみネットの坂下さんと植木さんから感想をいただきました。

7月22日で200回を迎えたキンカン行動、さすが200回目、初参加の人、しばらく来てなかった人も来られ150人、パレードの列も長く賑やかです。元気が出ます。

最初の頃は関電前の行動だけで、参加者のリレートークや原発いらないの替え歌や詩吟など、また目の不自由な女性が湖北から1人で参加、オカリナを吹いたり、夫々に自分たちの思いを語ったり、得意分野で表現したり、高浜原発を止めた大津地裁決定の報告をみんな喜び合ったりして来ました。

最近では2・4週の金曜日は膳所駅から関電前へのパレードに変わり、道行く人々に「子どもを守れ」「びわ湖を守れ」「バイバイ原発」など鳴子やタンバリンを打ち、アピールして歩いています。

暑い日、寒い日、雨の日、雪の日もありますが、これからも体の許す限り原発がなくなるまで、続けていきたいと思います。みなさんも一緒に。

(坂下)

200回目はキンカン行動開始から丸4年。最初は30人以上の参加者がありましたが、各地でメモリアル行動（毎月11日）もあり、最近はいつも22～23人の参加者です。関電前ではコールを始めと終わりに、参加者の想いをそれぞれ発言します。201回目の参加者は24人でした。参加者が「300回はないように、関電前の行動が1日も早く終わるよう願っている」と発言、参加者一同納得。原発ゼロ、危険原発は1日でも早くなくすしかありません。  
(植木)



時計草 岩波 美智子さん 画



